

中央設計技術研究所

水道5位、下水道10位以内を

第55期経営計画発表会開く

中央設計技術研究所 (金沢市、中辻英二社長) は26日、今期のキックオフとなる第55期経営計画発表会を金沢市アートホールで開催した。

例年10月期のスタートに合わせ開催しているもので、同日は全国から100人を超える社員が参加した。

期経営方針を発表。顧客満足度向上やグループの連携強化、個の強化と能力向上、人材の確保・育成、ブランド意識など10項目の推進を図るとした上で、「大手建コンにも負けない意識を持つ。会社は中小でも、内容は大手並みである自信と誇りを持って」と語り、全国建コンランキングで水道部門5位以上、下水

道部門10位以上を目指す決意を示した。

引き続き、各本部長、各部長らが、部門・事務所ごとに今期の受注目標や受注計画、具体的な重点施策について発表。このなかで、東京都などの大都市圏では下水道施設更新に伴う仕事が増加しており、さらなる受注拡大を目指す。前期開設した北海道事務所では営業活動を本格化、CSR活動を目的とした白山瀬波の設立に伴う白山事務所 (石川県白山市) の開設などを報告。



社員全員での経営理念の唱和と中辻社長から表彰される受賞者



また、今期から金沢事務所を石川総合事務所に、岐阜事務所を東海支店に、福井事務所を福井・関西統括事務所にそれぞれ改名し、営業活動を強化する。

その後、第54期表彰として、永年勤続表彰や業績表彰などを執り行い、閉会した。